

Tokyo Open Water Swimming 大島 2022

参加時の新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する 注意事項および誓約事項

1. 水泳競技会における感染拡大予防ガイドラインおよび大会主催者の指導や指示を遵守し、新型コロナウイルス感染症などの感染防止に努めること。ガイドラインおよび注意事項に違反した者または団体は出場停止の上、退場処分とする。
2. 大会初日の7日前以内に新型コロナウイルス感染の疑いや発熱などの症状が認められる者の参加を中止すること。また、登録団体は所属選手およびスタッフの健康状態を必ず確認すること。
3. 大会初日の7日前以内にチーム（クラブ）の中から新型コロナウイルス陽性者が発生した場合は、練習場所および練習時間を同じくする者の参加を中止すること。
ただし、新型コロナウイルス感染者および濃厚接触者を除き、来場72時間以内のウイルス検査（PCR、TMA、StAmp、抗原定量、抗原定性など）にて陰性を確認した者の出場は認める。（陰性証明書は不要、後日陽性となった場合または大会実行委員会から要請があった場合に提示できるような記録は必要）
4. 競技会会場への入場に必要な書類等は正確に記入すること。引率責任者は所属選手およびスタッフ全員の書類について不備がないか確認すること。不備がある場合は入場を許可しない。また、記載事項に虚偽があった場合は当該団体の出場を禁止し厳重に処分する。
5. 主催者から競技会への欠場要請があった場合はそれに従うこと。
6. 競技会後7日以内に新型コロナウイルスに感染またはその疑いが生じた場合は、速やかに主催者に報告すること。
7. 感染症拡散防止の目的で保健所ならびに関係機関に健康管理表に記載の個人情報提供される場合がある。
8. 島民以外の参加者は原則来場72時間以内のウイルス検査（PCR、TMA、StAmp、抗原定量、抗原定性など）を行い、陰性を確認すること。（陰性証明書は不要、後日陽性となった場合または大会実行委員会から要請があった場合に提示できるような記録は必要）

Tokyo Open Water Swimming 大島 2022

追加要項

1. 5km競技

(1) 競技について

本競技会は、(公財)日本水泳連盟オープンウォータースイミング競技規則に則り実施する。

※一部、ローカルルールを適用する。

※ローカルルール

- ①マスターズの部出場者は海水温20℃以上ある場合でもウェットスーツ、ラッシュガードの着用を認める。
- ②レース開始1時間45分後にコースを閉鎖する。
- ③審判長、ライフセーバー、または大会主催者が、競技続行が危険、もしくは不可能と判断した場合は、記録(=タイム)は残さず、緊急中止直前のラップゲートの通過順位を最終順位とする。

(2) スタート方法

スタート方法 フローティングスタート

(3) レース開始時刻の変更

※潮汐の関係上、開催要項から変更を行った。

※天候等で大会当日にさらに変更する場合がある。

7月3日(日) 男子 8時00分

女子 8時05分

(4) スケジュール概要

・7月2日(土)

14時00分～15時00分 公式練習開始

16時00分 監督者会議

・7月3日(日)

6時15分 大会可否判断 HP掲載

6時45分 ウォーミングアップ開始(指定エリアのみ)

6時45分～7時15分 選手受付

7時30分 ウォーミングアップ終了

7時40分 選手招集

8時00分 男子スタート

8時05分 女子スタート

10時00分(予定) 表彰式

(5) 入場は以下の手順を受付(湯の浜特設会場内 屋外プール横)にて行うこと。

受付は選手・チームスタッフ共に公式練習、監督者会議、当日選手受付の3回実施するため、ADカードは常に首から下げておくこと。

①健康管理表兼参加同意書(様式A-05)提出

・受付初回のみ提出すること。

②登録団体用健康確認票(様式T-03)提出

・受付初回のみ提出すること。

・チームの引率責任者が提出すること。

③検温

・37.5℃以上を検知した場合は、救護担当の指示に従うこと。

④入場許可スタンプ

- ・ADカードに許可スタンプを押印する。

(6) 監督者会議（参加必須）

日 時：7月2日（土） 16時00分から17時00分

場 所：開発総合センター 2F 大集会室

住 所：〒100-0101 東京都大島町元町1-1-14

配布物：確認資料、翌日提出書類

(7) 公式練習

日 時：7月2日（土） 14時00分から15時00分

- ・公式練習の前に湯の浜特設会場内 屋外プール横での受付を済ませ、必ずADカード持参のうえ「入退水」のチェックを受けること。
- ・公式練習の際は、競技コース全体を開放しコースを一周する時はライフガードが囲む中での移動とする。（但し、コース準備の進捗状況、気象状況等によっては、開放するエリアを限定、制限することがある。）
- ・コース周回泳は反時計回りとし、逆泳は禁止とする。なお、フィニッシュゲートは設営状況によっては使用できない場合もある。

(8) 大会当日 選手受付

場 所：湯の浜特設会場内 屋外プール横

日 時：7月3日（日） 6時45分～7時15分

方 法：①選手受付の際は、ADカード、「OWS健康チェックシート」を提出、競技で着用する水着・スイムキャップ・ゴーグルのチェック、手足の爪チェック、装飾品チェックを行う。

※選手は健康管理表（様式A-05）とは別に「OWS健康チェックシート」も提出すること。ADカード、OWS健康チェックシートはHPからダウンロードすること。

②ナンバリングシールの貼付は大会スタッフが行う。

③トランスポンダーを1選手につき2つ配布する。選手招集までに両腕に着用すること。ビニールテープ等の貸し出しは行わない。

④水着チェックの際は、着用でも持参でも構わない。Finaマークが見えるように提示すること。

⑤ウェットスーツ着用の場合は、ナンバリングシール、もしくは白色パステルクレヨンにて番号を記載するので、係員の指示に従うこと。

(9) 大会当日ウォーミングアップ

日 時：7月3日（日） 6時45分～7時30分 当日指定エリア

ウォーミングアップ希望者は受付にADカードを提出してから入水すること。

退水後は受付に戻り氏名を申告してADカードを大会スタッフから受け取ること。

(10) 選手招集

①選手招集の際は、ADカードを持参すること。

②トランスポンダーを両腕に装着してくること。

③招集時のマスク着用は、入水直前まで必須とする。

④審判長から最終ブリーフィング後、選手コールが始まったら、競技役員の指示に従いビーチ待機位置へ移動すること。

⑤ADカードは競技役員へ渡すこと。

(11) スタート

- ①スタートラインは、水面に張られたロープにより示される。
- ②選手はスタートライン（ロープ）の前に位置し、後ろ手でロープを握り、フローティングで待機する。
- ③審判長のホイッスルの後、スターターのホーン（＝フラッグ振り下ろし）によりスタートする。

(12) フィニッシュおよび途中退水

- ①ゴールタッチ板にタッチした時点でフィニッシュとする。（手のひらで確実にタッチすること）
- ②フィニッシュはコースロープの先端につけてあるブイとブイの間を通り、フィニッシュゲートを手のひらで確実にタッチすること。ブイとブイの間を通らず、コースロープを横切った場合は失格となる。タッチ板にタッチしなかった場合は、フィニッシュとは認められない。
- ③フィニッシュした選手は必ずトランスポンダーを返却しなくてはならない。
- ④トランスポンダー返却後、呼吸が整い次第、マスクを着用すること。
- ⑤レース途中でトランスポンダーを紛失しても左右どちらかに1個のトランスポンダーが装着されていればフィニッシュと認める。トランスポンダー2個紛失の場合はフィニッシュと認めない。
- ⑥競技途中で退水（リタイア）をした場合は、必ず救護テントにて、医師の診察を受けること。また、ADカードを持った競技役員が来るまで救護テントで待機し、トランスポンダーと引き換えにADカードを受け取ること。

(13) 表彰

日 時：7月3日（日） 10時00分（予定）

- ①エリートの部、マスターズ部の男女各1位から3位入賞者に表彰を行う。
- ②ADカードを持参すること。

(14) 選手ナンバーの抽選と発表

機械自動抽選により決定する。（公財）東京都水泳協会ホームページにて発表する。

(15) 荒天時の対応

- ①競技実施については、天候状況により競技時間・距離・コースを変更して行うことがある。
- ②競技実施の可否および競技方法の変更等については、当日6時15分に決定し、（公財）東京都水泳協会ホームページにて発表する。
- ③上記以前に開催が難しいと判断した場合も、同じく（公財）東京都水泳協会ホームページにて発表する。

(16) 感染症拡大予防について

- ①感染症予防ガイドラインに従い大会運営する。
- ②ガイドラインに従わない場合、また大会関係者の指示に従わない場合は退場処分とする。
- ③大会会場内のみならず、往復の移動や日常生活においても感染症予防に努めること。

(17) 大会参加にあたっての同意事項について

- ①水泳競技会における感染拡大予防ガイドラインおよび大会主催者の指導や指示を遵守し、新型コロナウイルス感染症などの感染防止に努めること。
- ②新型コロナウイルス感染の疑いや発熱などの症状が認められる場合には参加を辞退すること。また、主催者から大会の欠場要請があった場合はそれに従うこと。
- ③大会後7日以内に新型コロナウイルスに感染またはその疑いが生じた場合は、速やかに主催者に報告すること。
- ④大会期間中に発生した事故・傷病・感染症は、自己または保護者の責任において対処すること。
- ⑤感染症拡散防止の目的で保健所ならびに関係機関に健康管理表に記載の個人情報提供される場合がある。

- ⑥悪天候・自然災害または感染症流行等により大会が中止になった場合および自己または主催者の判断で出場取消しとなった場合でも申込金は返金しない。
- ⑦競技会に関しての変更点や中止等の情報はホームページに掲載する。随時確認すること。
- ⑧公益財団法人日本水泳連盟および公益財団法人東京都水泳協会が定める規則等を遵守すること。

(18) その他

- ①熱中症に注意すること。
 - ・ こまめな水分補給を心掛けること。
 - ・ ペットボトル、水筒などは専用のものを使用し、他者と共有しないこと。
- ②選手の保護者を含め、応援・観覧のための入場はできない。
- ③レースやウォーミングアップ時に脱衣した衣服は袋やナップザック等に入れて管理すること。
商標登録に注意すること。
- ④忘れ物は、最終日競技終了後、破棄する場合がある。
- ⑤貴重品は各団体の責任において管理すること。
- ⑥事故、怪我等の無いよう各団体において十分注意すること。
- ⑦会場内の設備、備品等を破損した場合は、所属団体の責任において弁償すること。

(19) 大会実行委員会

公益財団法人東京都水泳協会 OWS 委員会 oc@tokyo-swim.org